

令和4年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名：富山県

農業委員会名：朝日町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和2 年 7 月 20 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	14	14
認定農業者	—	3
認定農業者に準ずる者	—	5
女性	—	2
40代以下	—	1
中立委員	—	1

任期満了年月日 令和5 年 7 月 19 日

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	10	10	8

2 農家・農地等の概要

経営体数		農業者数(人)		経営体数(経営体)	
総農家数	369	基幹的農業従事者数	171	認定農業者	44
農業経営体数	212	女性	49	基本構想水準到達者	4
※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		40代以下	19	認定新規就農者	0
		※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		農業参入法人	0
				集落営農経営	3
				特定農業団体	1
				集落営農組織	3
				※農業委員会調べ	

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1,400	38	38			1,430

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	1,430	ha	1,151	ha	80.5	%
課題	中山間地や用途地域内の未整備田、不整形田が多く、農地中間管理事業等を活用した基盤整備等の土地改良事業の実施が必要。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和5 年度	集積率	86.5 %
今年度の新規集積面積	43 ha	農地面積(C)	1,430 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	1,194 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	83.5 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	1.6 ha	1.4 ha	0.2 ha
課題	遊休農地となっている土地は、狭小地や鳥獣被害の発生が要因であることから、基盤整備や鳥獣被害対策の推進、狭小地における畑作利用者の確保による解消策を講じる必要がある。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	1.4 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.23 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0.2 ha
--------------------------	--------

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	町当局や地域の鳥獣被害対策協議会との連携ならびに粗放的活用等の検討
-------------------------	-----------------------------------

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0 ha
---------------------------	------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和元年度新規参入者		令和2年度新規参入者		令和3年度新規参入者	
	0	経営体	0	経営体	0	経営体
	0	ha	0	ha	0	ha
課題	新規参入については、引続き農業研修生の確保と育成を積極的に推進する。併せて、独立経営のための農地の確保について、対策を講じる必要がある。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均	
	138.9	ha	173.6	ha	100.8	ha	137.8	ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積					13.8	ha		

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。))及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10	日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	14	人
			農地利用最適化推進委員の人数	10	人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数		3	回
取組時期	取組項目	強化月間の内容	
8月	②遊休農地の解消	一斉草刈り時期に、自己保全している(遊休農地化しそうな)ほ場を巡回。	
10月	②遊休農地の解消	農地パトロールフォローアップ。遊休農地化しそうな農地所有者との面談	
11月	③新規参入の促進	農業研修生等との意見交換会	

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数		2	回
開催時期	8月	相談会名	とやま農林漁業就業支援フェア
参加者数	のべ24人	開催場所	サンシップとやま
相談会の内容	会場において就農希望者、受入者の状況把握。随時、開催時間帯において朝日町ブースでの相談者への対応。		
開催時期	6月～3月	相談会名	とやま農林漁業就業支援相談会
参加者数	1名以上	開催場所	ゴルフアートとやま
相談会の内容	農業を始めてみたい方、体験研修を受けてみたい方、法人等への就農を希望する方、及び開催者の状況把握と意見交換		

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)